



PRESS RELEASE

2022 年 5 月 30 日

株式会社オギノ

オギノ、「トレーtoトレー」水平リサイクルを開始

安藤紙業・エフピコと協働し、食品トレーの資源循環を促進

株式会社オギノ(本社:山梨県甲府市、代表取締役社長:荻野 寛二、以下「オギノ」)は、安藤紙業株式会社(本社:静岡県静岡市、代表取締役:安藤 康将、以下「安藤紙業」)、株式会社エフピコ(福山本社:広島県福山市、東京本社:東京都新宿区、代表取締役社長:佐藤 守正、以下「エフピコ」)と協働し、オギノ各店舗のリサイクルステーションにて回収した食品トレーを新たな食品トレーに生まれ変わらせる「トレーtoトレー」水平リサイクルを、2022 年 6 月 1 日(水)より開始します。

オギノは、山梨県、長野県、静岡県に食品、住居関連品、衣料品を販売するスーパーマーケット、衣料専門店を合わせて全 45 店舗展開しています。オギノは、循環型社会の構築を目指し、SDGs の考え方を取り入れ CSR 活動に取り組んでいます。その一つとして、SDGs が掲げる目標 12「つくる責任つかう責任」、目標 17「パートナーシップで目標を達成しよう」などを意識し、食品トレーや牛乳パック、ペットボトル、缶、古紙の店頭リサイクルに注力しています。2019 年以降は、古着や布団、段ボールの回収も行っています。

オギノの店頭リサイクルは約 20 年前から実施しており、2021 年度の食品トレーの回収量は約 24,000kg で、食品トレー約 480 万枚分に相当します。CO₂ 排出量の削減量は約 110 トンで、これは杉の木約 8,500 本分、杉の木の森林面積に換算すると東京ドーム約 1 個分の年間 CO₂ 吸収量に相当します。これまでに回収した食品トレーは、賞状・写真の額縁やプラスチック製品の原料として再資源化されてきました。今回の取り組みで、お客様のご協力により集められた食品トレーの約 7 割が食品トレーに水平リサイクルされます。水平リサイクルとは、同一種類の製品に生まれ変わらせることで、資源をくり返し循環させられることが利点です。

安藤紙業は、静岡県静岡市に本社をおく産業廃棄物・一般廃棄物処分業者です。創業以来、製紙原料を取り扱い、新聞・雑誌・段ボール等、古紙リサイクル事業を営んでまいりました。近年は、衣類・プラスチック類・金属類など、資源循環型社会への対応として多種多様な回収・処理を行っています。2012 年よりオギノは店舗敷地内に古紙回収ボックスを設置し、安藤紙業との資源循環の取り組みをスタートしました。また、現在は段ボール・牛乳パック・発泡スチロール・食品トレー・古着・布団などの資源循環を協働して取り組んでいます。

エフピコは、広島県福山市・東京都新宿区に本社をおく合成樹脂製簡易食品容器の製造業者です。1990年より食品トレーのリサイクルに取り組んでおり、お客様がスーパーマーケットなどに設置された回収ボックスにお持ちいただいた食品トレーを回収し、食品トレーに生まれ変わらせる「トレーtoトレー」を推進しています。

オギノは、「食・住・衣を通じて、変化するお客様の日常生活を絶え間なく支え、創造し、豊かにする」を企業使命とし、今後も地域社会を支える小売業として、お客様やお取引先様と一体となって環境に配慮した活動を推進してまいります。

■ 画像

《オギノ リサイクルステーション》



《安藤紙業 食品トレー・発泡スチロールの回収》



《エフピコ 食品トレーのリサイクル》



以上